醍醐寺文書聖教国宝指定完了記念

国宝

十万点の祈り

―寛永文化と醍醐寺―

俵屋宗達



重要文化財　扇面散図屏風　俵屋宗達筆　江戸時代

10.17（土） 2026 **12.6（日）**

【拝観時間】 9時～17時（受付は16時30分まで）
【会　　場】 醍醐寺霊宝館 本館・平成館
【休 館 日】 なし ※ただし、行事等の都合により変更の可能性あり

※10月25日（日）13時から論議（問答形式）竪義会が、また、前日の10月24日（土）竪義会に伴い14時から平座理趣三昧法要が霊宝館で厳修されます。（見学は無料、ただし、入館料は必要）

総本山 醍醐寺
世界文化遺産
World Cultural Heritage
Daigoji Temple

TEL 075-571-0002
〒601-1325 京都市伏見区醍醐東大路町22
醍醐寺 HP https://www.daigoji.or.jp/

国宝 十万点の祈り

―寛永文化と醍醐寺―

展覧会概要と企画背景

「醍醐寺文書聖教」は醍醐寺に伝わる紙の史料で、平安時代から近代までの書状などの文書と、密教の儀式や教理を解説する聖教で、歴代の僧侶らが、戦乱や廃仏毀釈などから守り抜いてきたもの。東京帝国大学黒板勝美博士を中心に大正3年(1914)に始まった調査は、現在では醍醐寺文化財研究所(所長・永村眞〈日本女子大学名誉教授〉)によって引き継がれ、その調査を基に文化庁による指定調査が始まった。平成元年(1989)には第1函～第100函まで、平成12年(2000)には第101函～第300函、平成22年(2010)には第301函～第500函まで、平成25年(2013)には第501函～第558函までが順次重要文化財に指定され、同時に、「醍醐寺文書聖教」として国宝に昇格しました。本年(2026年)、第559函～第815函が国宝に追加指定され、指定完了を記念してその一部を公開します。

また、400年前の寛永3年(1626)京都では、三代将軍・徳川家光が公武融和の象徴として後水尾天皇を二条城にお迎えし、天皇をもてなす「寛永行幸」を行ったことから、さまざまな産業や文化が花開き、のちに「寛永文化」と称される時代が到来しました。

展覧会の見どころ

本展では、江戸時代中頃に成立した「諸国末寺修験官職帳」を展示します。同帳は、醍醐寺塔頭三宝院による当山派修験道の全国的な支配を物語るもので、国ごとに分けられた諸寺院の修験者に対する官職や昇進、相承を記録するもの。

また、江戸初期の作品として醍醐寺が所蔵する俵屋宗達の作品中から「扇面散図屏風」「芦鴨図衝立」の二作品に加えて、三代将軍・徳川家光の念持仏として伝わる「如意輪観音坐像」、銀口に葵御紋のついた法螺貝などを展示します。



国宝 寛永日々記
江戸時代前期 寛永
「醍醐寺文書聖教」第132函

寛永7年(1630)～寛永21年／正保元年(1644)までの醍醐寺の年中行事やその当時の座主・覚定に関する記事を1年分ごとに1冊にまとめたもので全15冊。その中で、寛永8年9月13日の条には『源氏御屏風壱双　宗達筆　判金一枚也　今日出来　結構成事也』とあり、宗達筆のその屏風は、現在、東京都にある静嘉堂文庫が所蔵する国宝『紙本金地着色源氏物語関屋及澪標図屏風』六曲一双と推測される。静嘉堂の創始者で三菱の二代目総帥として知られる岩崎彌之助が明治28年ごろ醍醐寺に多額の寄付をしておりそのお礼に、この屏風を贈ったと考えられている。本展では、その条を展示します。

醍醐寺文化財研究所 永村眞所長のあいさつ

明治初年より醍醐寺は、古代から維持してきた多様な仏法の受容や相承の仕組み、また醍醐寺を支えた朱印地を、維新政府の宗教政策によって一挙に失い、大変に厳しい時代を送ることになりました。その中で醍醐寺は収蔵施設を整え、創建期以来の経巻や聖教類を寺外に流出させることなく護り続けてきたのです。大正3年から続けてきた調査が昨年までに一段落し、その成果として九万四千点を越える史料が今年3月に国宝に指定されました。本展では、その一端を出陳します。時代を超えて伝えられた貴重な史料の姿をぜひご覧ください。



如意輪観音坐像
鎌倉時代



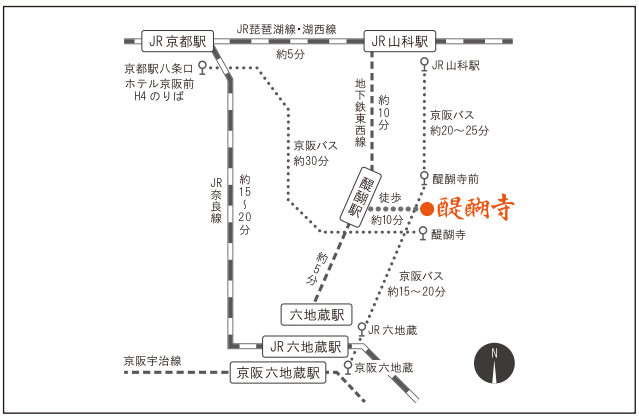
国宝 諸国末寺修験官職帳
江戸時代
「醍醐寺文書聖教」第593函



重要文化財 芦鴨図衝立 俵屋宗達筆
江戸時代

【拝 観 料】 600円

【アクセス】・市営地下鉄東西線「醍醐」駅下車、2番出口より徒歩約10分
・京阪バス 22A/22B「醍醐寺前」、301「醍醐寺」下車すぐ



※寺内行事等により、予告なく展示会の中止や会期の変更等を行う可能性があります。

総本山 醍醐寺
世界文化遺産
World Cultural Heritage
Daigoji Temple
TEL 075-571-0002
〒601-1325 京都市伏見区醍醐東大路町22
醍醐寺 HP https://www.daigoji.or.jp/